

移住施策の推進に関する決議

近年、人口の減少や高齢化の進行、依然として厳しい経済・雇用状況など、地域経済を支えてきた基幹産業の活力低下が懸念されるとともに、税収の伸び悩みや地方交付税の減少などによる町財政はたいへん厳しい状況に直面しております。

「団塊の世代」等の大量退職時期を迎え、健康で心豊かなライフスタイルを求めて、新たな人生を歩む場としての「第2の故郷探し」の需要が高まりつつあり、移住や二地域居住を実現する人が増え、地域にとけ込み、新しい視点で地域づくりに参加する人が多くなっています。

大空町は、『大空と大地の中でふれあいと語らいで創る感動のまち』として、藻琴山、網走湖、豊かな農地、美しい景観などがあり、食や自然環境に対するこだわりに対応でき、さらには、温泉、田園、牧畜体験も可能で、オホーツクの玄関口としての空港がある有利な利便性もあります。

このことから、町では交流人口の拡大による地域経済の活性化や地域コミュニティ・産業の担い手として、関係団体等との密接な連携により、暮らしの基盤となる保健・医療・福祉の体制や教育環境の整備、幅広い世代を対象に、住宅・土地の取得促進、就業奨励・確保などの移住事業を展開して、都市住民のさまざまなニーズにきめ細かく、その魅力を全国に発信し、本町への交流・定住をより一層加速することが強く望まれます。

大空町では、昨年、「大空町に定住をサポートする会」が設立され、移住・交流希望者のニーズに即したサービスを総合的に提供する受け入れ体制整備が進められておりますが、本議会での提言を真摯に受けとめ、さらに積極的な移住施策と早期の環境整備を促進することを要望します。

平成20年 2月16日提出

(提案者) 大空町移住者模擬議会議員 小野塚 仁
神野里美
高木国広
田中伸明
田中志保
平岡映二
廣瀬太郎

大空町議会議長 後藤 幸太郎 様